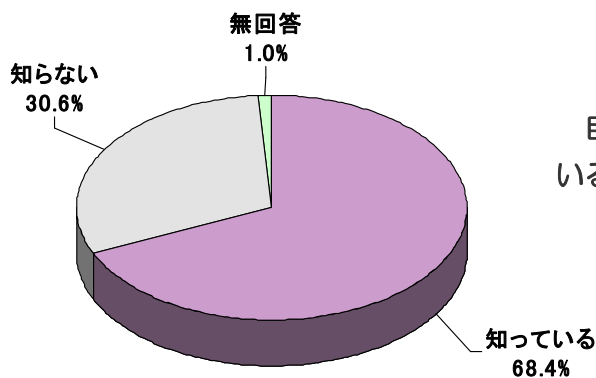




## 4. 避難についてです。

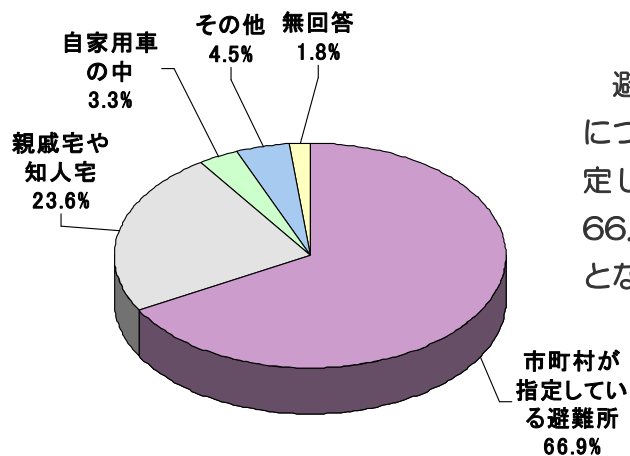
Q 市町村が指定しているご自宅近くの避難場所をご存じですか？



自宅近くの避難場所について「知っている」方は68.4%でした。

Q 当分の間、ご自宅を離れて避難生活をしなければならない場合、どこで避難生活を送ることを考えていますか？

いざという時に  
備え、避難場所の  
確認をお願いします。



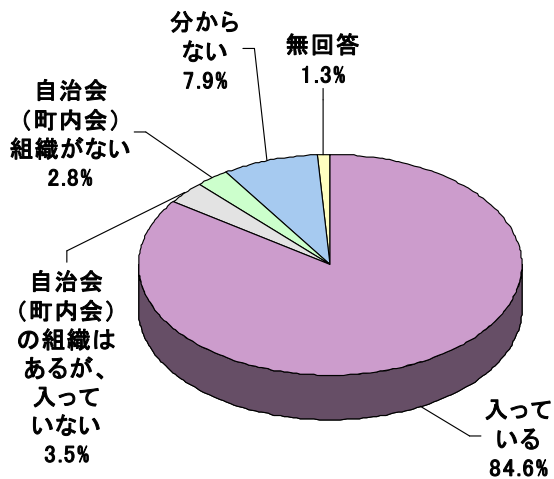
避難生活を送る場所については「市町村が指定している避難所」が66.9%と最も多い回答となりました。





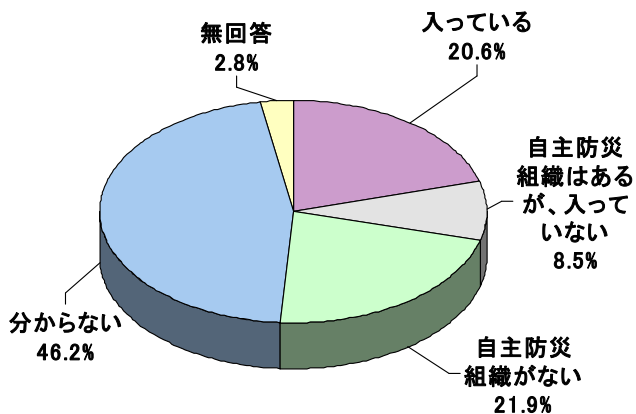
## 5. 地域や職場での 防災活動についてです。

Q ご家庭は、自治会（町内会）に入っていますか？



地域の自治会（町内会）に「入っている」と回答した方は84.6%でした。

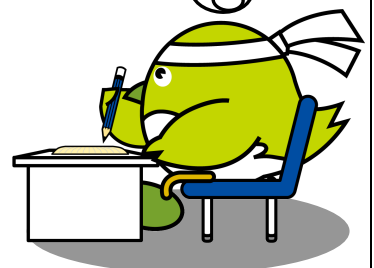
Q ご家庭は、地域の自主防災組織に入っていますか？



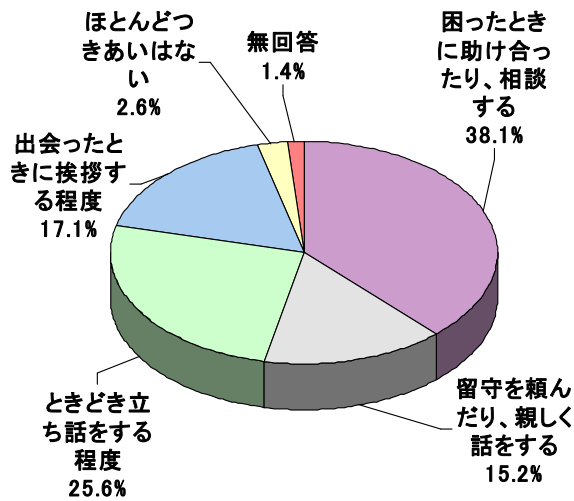
地域の自主防災組織に「入っている」と回答した方は20.6%でした。

「分からない」という回答が最も多く見られました。

自治会の加入と比べて、自主防災組織への加入（意識）が低いんだね。



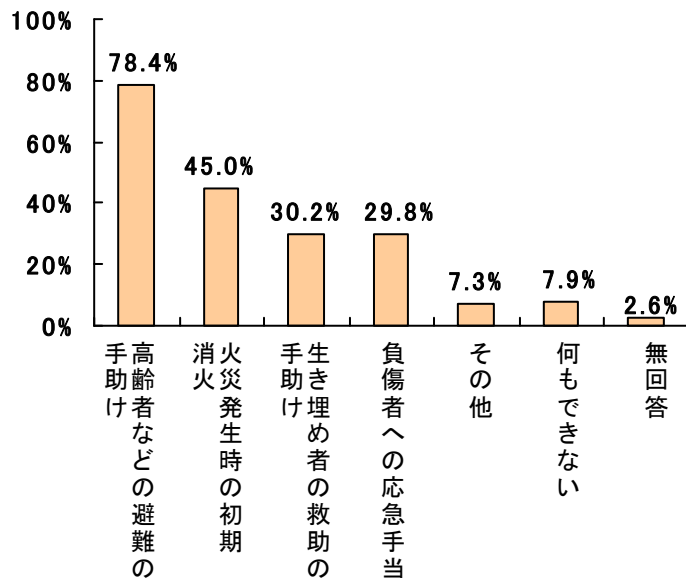
Q 災害発生時には、地域住民同士の助け合いが重要と言われています。  
あなたは、普段どの程度の近所づきあいをしていますか？



普段の近所づきあいについては、回答にややばらつきがみられました。  
その中で最も多かったのは「困ったときに助け合ったあり、相談する」でした。

Q 災害発生時、あなたが無事だったとき、どのような助け合い活動ができると思いますか？

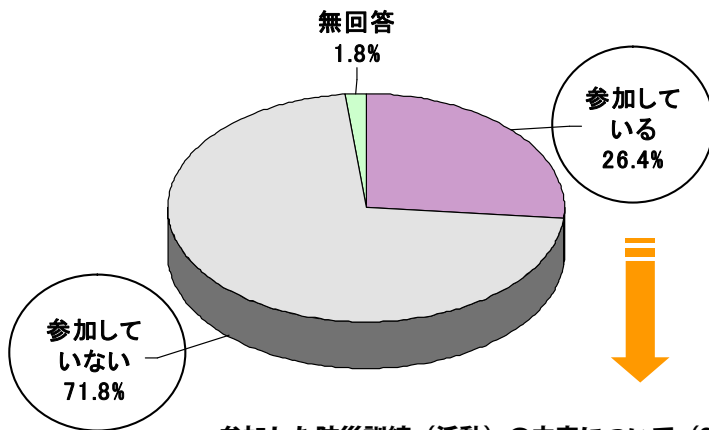
災害時には、地域の防災力も大切です。地域防災力を高めましょう。



助け合い活動については、「高齢者などの避難の手助け」が最も多く78.4%の回答でした。

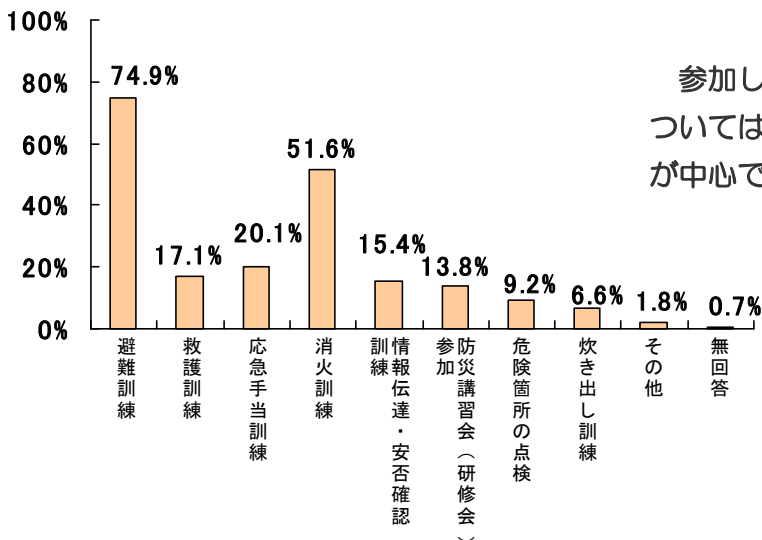


Q あなたは、平成21年に地域や職場での防災訓練（活動）に参加したことがありますか？



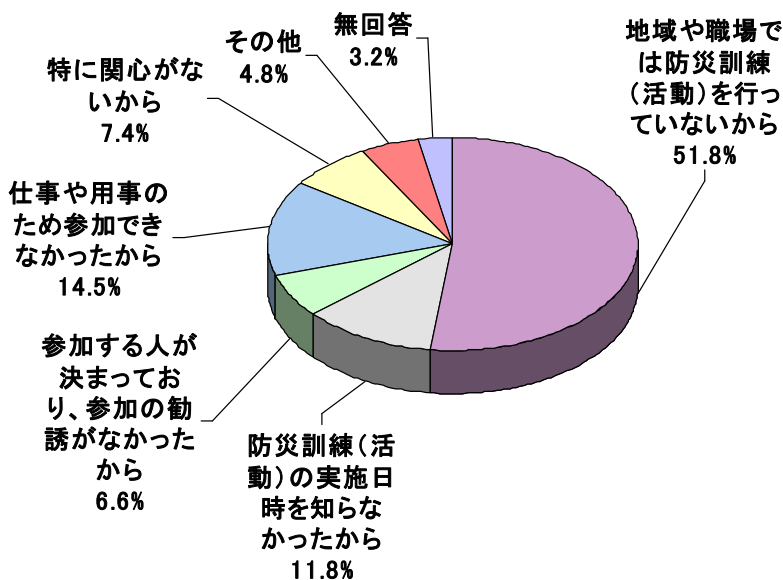
平成21年の防災訓練（活動）への参加については、26.4%の方が「参加」していました。

参加した防災訓練（活動）の内容について（824人が対象）

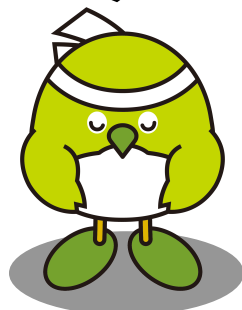


参加した防災訓練（活動）内容については、「避難訓練」「消火訓練」が中心でした。

防災訓練（活動）に参加していない理由について（2,241人が対象）

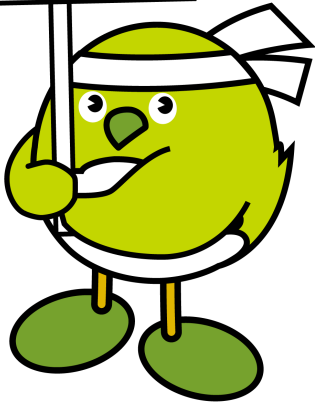


地域や職場での防災訓練（活動）への積極的な取り組みと参加をお願いします。



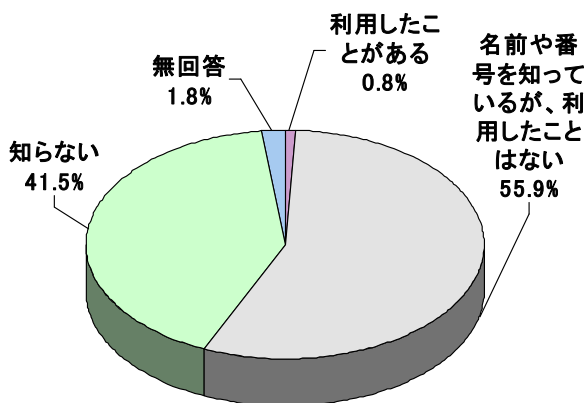
不参加の理由は「地域や職場では防災訓練（活動）を行っていないから」が最も多くなりました。

# 大分県



## 6. 防災（減災）啓発 についてです。

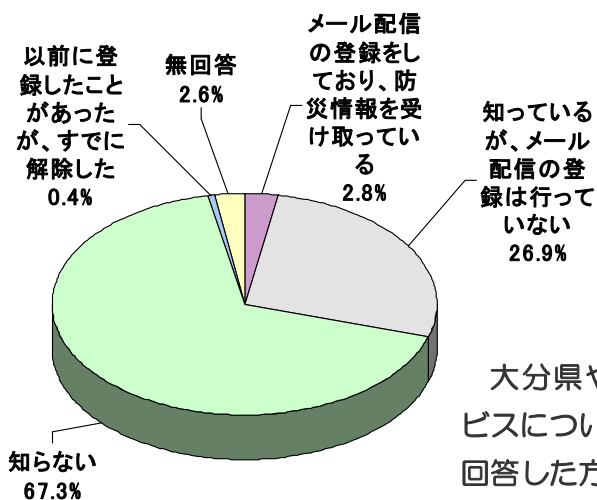
Q 災害発生時に通信が繋がりにくい状態になった場合には、「災害用伝言ダイヤル171」がNTTから提供されます。ご存じですか？



災害用伝言ダイヤルについて「名前や番号を知っているが、利用したことがない」と回答した方が55.9%、「利用したことがある方」が0.8%、合わせて56.7%となっています。

Q 大分県（県民安全・安心メール）や大分市（大分市防災メール）では、地震情報や気象警報などをメールで配信しています。この配信サービスをご存じですか？

配信サービスの認知はまだまだだね。



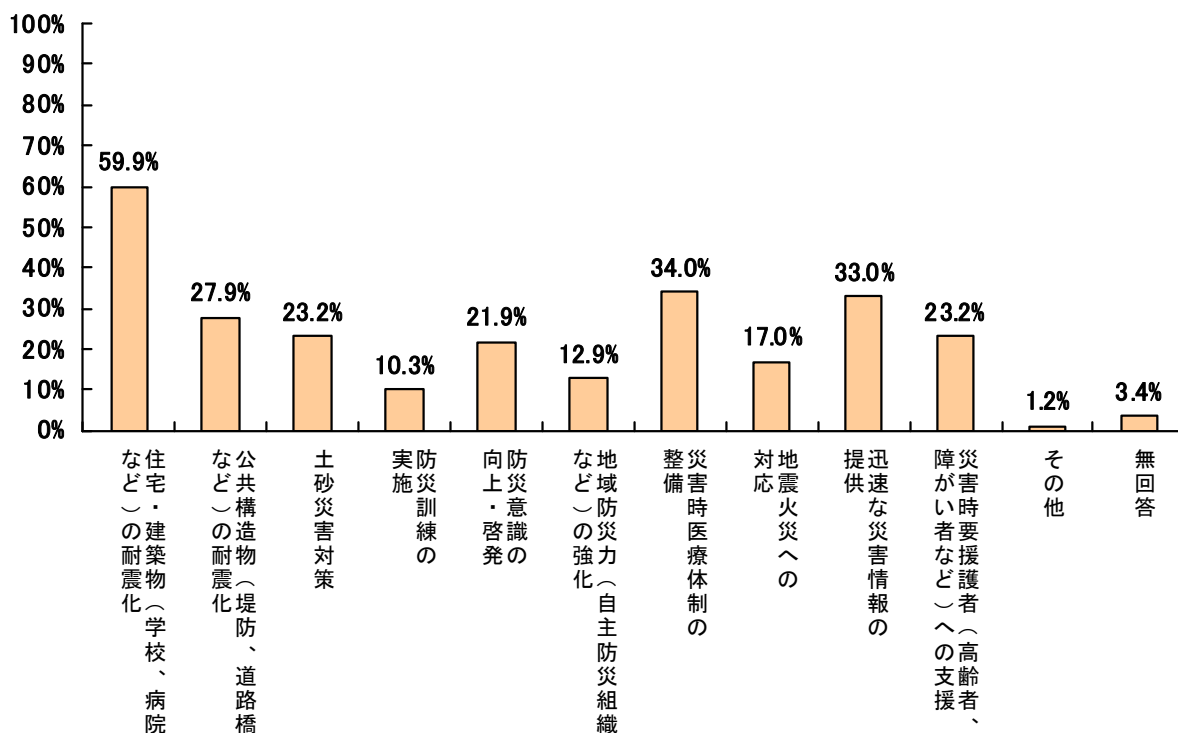
大分県や大分市の配信サービスについては「知らない」と回答した方が67.3%となっています。





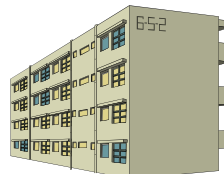
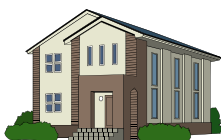
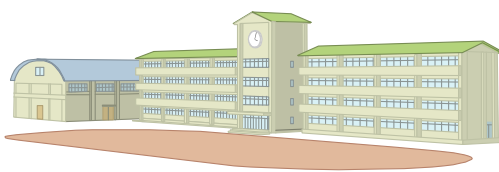
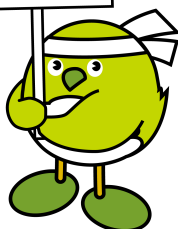
## 7. 今後の地震対策 についてです。

Q あなたは、地震対策として特に力を入れるべき対策は何だと考えていますか？



最も多かったのは「住宅・建築物（学校、病院など）の耐震化」で約6割の方が回答しています。次いで、「災害時医療体制の整備」「迅速な災害情報の提供」が続いています。

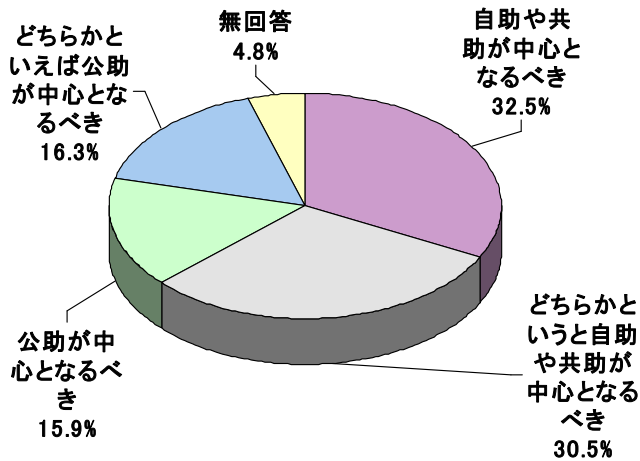
耐震化



耐震化はできて  
いるかな？



Q あなたは、地震対策における「自助（個人、家庭等）」、「共助（地域）」、「公助（行政）」の役割分担について、どの考え方に近いですか？



自助、共助、公助の役割分担については、回答にバラツキがみられますが、「自助や共助が中心となるべき」と回答した方が最も多く 32.5%でした。

また、「どちらかという自助や共助が中心となるべき」も 30.5%となっており、自助・共助中心の考え方が多くなっています。

減災を実現するためには  
「自助」「共助」「公助」  
がそれぞれの役割を果たす  
ことが大切です。



### <自由要望・意見抜粋>

- 地震対策等については県民に少し大きすぎないに伝えるべき。
- 子供たち（学校現場）にもっと関心を持たせる働きかけが必要だと思う。
- 市町村への指導強化。一体的な自主防災意識の向上。
- 地域で防災意識に差があると思う。「公」が積極的に指導してもらいたい。
- よく知らないことが多いと、今回のアンケートで改めて思った。
- 回答をしていくうちに分かったつもり部分が実際には分からなかったりと、災害に対する無知を感じた。
- 日頃の備え。食糧・飲料水等の備蓄。避難場所の確認。
- 地震は自然災害であるため、どんな対策をしていても 100%安全ではない。行政だけに頼るのではなく、個人や地域の意識で今後考えて対策をしていかなければと考えた。
- 地震の怖さは十分知っているが、高齢になるとパソコンや携帯電話が使用できない。高齢者への対応もお願いしたい。
- 高齢者や障害者への支援ばかりではなく、乳幼児や妊婦がいる世帯への援助も考えてほしい。
- 私達の地域では、自主防災組織の存在すら知ってない、昔ながらの組織が結成当時そのままであり組織を再整備する必要がある。
- 携帯や PC を持っている人は情報が取れたりできるが、高齢者や携帯等を持っていない人達への広報活動もお願いしたい。
- 実際に地震が起こった場合では避難場所までの交通手段もない。高齢者も多い。限界集落についても、もう少しインフラの整備をお願いしたい。
- 各市町村で定期的に避難訓練を実施してほしい。
- 景気の低迷で毎日の生活が必死で防災が大切とはわかっているても後回しになる状況だ。
- 県内全域を総点検してほしい。



毎月 1 日は「県民減災社会  
づくりの日」だよ。

## 県民安全・安心メールに登録しよう!!

### 《配信される情報》

- ・大雨警報や暴風警報等の気象警報
- ・大分県内で震度 3 以上地震情報
- ・津波注意報、津波警報、大津波警報等の津波情報
- ・火山情報、土砂災害警戒情報、洪水予報
- ・竜巻注意情報
- ・災害時緊急情報（避難勧告、避難指示等の情報）
- ・光化学オキシダント情報、食中毒注意報



ピッ  
ピッ



### メールの登録方法

携帯電話から e@bousai-oita.jp に空メールを送るか、QR コードを読み取り、登録サイトの指示に沿って登録してください。

登録サイトはこちら >>>>>>>> <http://www.bousai-oita.jp/>



### 「大分県地震減災アクションプラン」

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13550/gensai-action-plan.html>

### 「大分県地震被害想定調査」

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13550/higaisoutei.html>

大分県 生活環境部 防災危機管理課 防災班

〒870-8501 大分市大手町3-1-1 新館8階

TEL 097-506-3155

Eメール a13550@pref.oita.lg.jp



